

## 10/9 消費者力アップ 学習会Vol.2



啓発活動、消費者教育の重要性を強く感じたなどの感想が寄せられました



オンライン(Zoom)にて、丹野 駿吾氏(弁護士)を講師に迎え、学習会を開催、50人が参加しました。2017年5月に成立した民法改正の概要、2022年4月1日からの施行が迫った成年年齢引き下げに伴う懸念事項とトラブル防止の対処法などについてお話いただき、次に消費生活相談員から20歳～23歳が遭うことの多い特徴的なトラブル「マルチ商法」「タレント養成スクール」「オンラインカジノのアフィリエイト」を紹介いただきました。

## 10/21 役職員研修会



「渋沢栄一がめざした持続可能な社会」をテーマに学びました



渋沢資料館館長 井上潤さん

協同組合や生協の事業、組織運営等、重要な政策テーマについて学び深めることを目的に、役職員研修会を開催しています。

8生協100人(会場13人、オンライン87人)が参加し、渋沢史料館館長 井上潤さんを講師に、渋沢さんの生い立ちや考え方を基本に、近代経済社会の基礎作り、福祉、教育にいたるまで講演いただきました。

## 10/11 助け合い活動 交流会



多主体協働の取り組みを学びました



ウエルシア薬局 宮崎進一さん

医療生協さいたまの活動報告

福祉助け合い活動に関わる組合員・職員が集まり、県内40カ所のウエルシア薬局店舗併設のコミュニティスペース「ウエルカフェ」を活用した健康づくりをはじめとするさまざまな取り組みを学び、地域の社会資源や他団体・他業種との連携をイメージしながら、助け合い活動の今後について考え、また、各生協による助け合い活動の現状を学びました。4生協29人が参加しました。

## 11/22 埼玉県消費生活 功労者表彰式



会員生協から2人が表彰されました



左から土屋敏夫さん、大野元裕知事、名和明彦さん

埼玉県消費生活功労者表彰式が埼玉県知事公館で行われ、消費者団体や消費生活協同組合の活動を通して消費者の利益のために取り組んでこられた14人の方が表彰されました。埼玉県生協連合会生協からは、土屋敏夫さん(コープデリ生活協同組合連合会)、名和明彦さん(生活協同組合コープみらい)の2人が受賞しました。

ずっとくらしのなかに  
50th

# 写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

2022  
冬号  
No.80  
(2022年1月発行)

Top News

## 第57回埼玉県消費者大会 11/9 全体会、分科会とも、 実参加とオンライン参加で開催しました



事務局長による基調報告



大野元裕埼玉県知事のごあいさつ



山口豊さんによる記念講演

「自ら考え行動する消費者になろう～誰ひとり取り残さない持続可能な社会を目指して～」を大会スローガンに、第57回埼玉県消費者大会が開催されました。高田美恵子実行委員長のあいさつでは、22の消費者団体が参加する実行委員会で話し合いを積み重ね、実参加とオンライン参加で、努力と工夫により、新しい形の大会を開催することができたことを報告しました。事務局長からの基調報告および埼玉県への要請の説明に続き、大野元裕埼玉県知事のごあいさつ、そして、記念講演では、テレビ朝日アナウンサーの山口豊さんから、「気候変動対策と再生可能エネルギーの未来～循環型社会づくりの取り組みから～」と題して講演いただき、気候変動の危機的状況や最先端のエネルギー情報、そして循環型社会づくりで地域が元気になっている事例など、わかりやすくお話いただきました。午後は、食と消費者課題の2つの分科会を開催し、全体会263人、分科会118人に参加いただきました。

## 11/25 第57回埼玉県消費者大会実行委員会と埼玉県との懇談会 埼玉県への要請書の回答を受け、 埼玉県と懇談しました



埼玉会館会議室にて、第57回埼玉県消費者大会実行委員会と埼玉県との懇談会が開催され、埼玉県からは5部局17課25人、実行委員会からは15団体17人が出席しました。第57回埼玉県消費者大会で確認された「埼玉県への要請書」に関して、要請書から抜粋した18項目について県の担当部局より口頭で回答があり、それを受けて要請内容の理解を深める発言や質疑応答をおこないました。



埼玉県マスコット「コバン」「さいたまっち」

co-op 埼玉県生活協同組合連合会





# 会員生協の取り組み

# 広がる県内生協の多彩な活動



店舗に設置された「食品寄贈ボックス」

## 生活協同組合コープみらい

### フードドライブ専用「食品寄贈ボックス」常設施設が埼玉県内30カ所に



地域での助け合いの一助としてフードバンク事業を担う市民団体や組合員による食品提供依頼が増えています。そうした地域のニーズに応じて身近なコープみらいの店舗でフードドライブ活動が実施できるように「食品寄贈ボックス」の常設を新たに9店舗増やしました。今回の設置で、既存の13店舗および8カ所の組合員施設を合わせて計30カ所となります。コープみらいでは、今後も積極的にフードバンクに協力し、食品ロスの削減、生活困窮者の支援を進めます。

食品を受け取った方からの感謝の声を掲載したポスターを掲示しました(一部店舗のみ)

## 医療生協さいたま生活協同組合

### “ブラ散歩”で秋を満喫



紅葉が見ごろの別所沼で秋を満喫しました

さいたま地区Cブロック(さいたま市)では、ぶらぶら歩きながら自分たちの町を知ろうと11月に「ブラ散歩」を開催し、47名が参加しました。参加者は3つのコースから選び、紅葉が見ごろの別所沼公園を散策したり、地元では有名なお寺を訪れたり、趣ある風景を楽しみました。北浦和の町を歩くコースでは、中山道を完歩したことがある運営委員がガイドになり、歴史を聞きながら歩きました。「運動不足だったので、久しぶりに気持ちよく歩けた」「仲間とぶらぶら、いいペースだった」「散歩なので気軽に参加できた」という感想が聞かれました。

次回は5月頃に「花さんぽ」として、あたたかくなった春を楽しみたいと考えています。

## 生活協同組合パルシステム埼玉

### オンライン商品展示会2021を開催



ホームバナナの産地(タイ)との中継

ホットケーキの焼き方の実演

11月23日、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった商品展示会を、今年度はオンラインで開催しました。9つのメーカーや生産者と交流し、参加アカウントは延べ318でした。テーマは「商品の魅力、再発見!つながろう、つなげよう!」。参加者には事前に試供品をお届けし、メーカーや生産者と交流しました。海外や遠方の生産者との交流、製造工程の動画視聴など、オンラインならではの企画が盛りだくさん。オンラインでも商品の良さを知り、感謝や要望を伝えられるよい機会となりました。

## 生活クラブ生活協同組合

### 所沢三富の畑で農作物の栽培体験中!



里芋の種芋の植付け(4月)

さつまいもの収穫(11月)

所沢三富地域にあるさんとめどんぐり村は、食を生産する農業と都市住民をつなぎ「遊び仕事」を体験できる場所です。今年は種まき(苗・種芋植え)～草取り～収穫という農作業に登録・参加してもらった「お芋くらぶ」「綿くらぶ」という企画に50家族の応募があり、11月14日に収穫イベントを開催しました。自分たちが植えた里芋の種芋やさつまいもの苗、綿の種がこんなに大きくなるのかと、来るたびにみな驚いた様子で楽しまれ、子どもたちも一生懸命苗植えや土ならし作業をしてくれました。冬に開催の「落ち葉はき」企画と共に循環型農業を楽しく実感してもらえたらと思います。

## こくみん共済 coop<全労済>

### 「こくみん共済 coop セミナー」を開催しました



あいさつする金井本部長

10月13日(水)に初の試みとしてZoomを活用したライブ配信にて「こくみん共済 coop セミナー」(オンライン形式)を開催し、60団体83人の方に参加(視聴)いただきました。当日はフリーアナウンサーの堤友香氏を講師にお招きし、「東日本大震災から10年 福島の取材で見えたこと」をテーマに講演をいただきました。また、「団体生命共済 新手術特約付帯の取り組み」について参加者から共済推進の具体的な事例報告をいただき、全体で共有化をはかりました。

## 埼玉大学生生活協同組合

### 学生支援企画「100円食堂」を実施しています!



6月に実施した「メリンちゃんスペシャルカレー」に引き続き、コロナ禍によりアルバイトなどの収入が減少し、食生活を無理に節約せざるを得ない学生に対して、100円で食事を提供し応援するイベントを、埼玉大学の協力のもと、実施しています。1日180食限定、1食100円で定食や丼を提供しています。コロナ禍でも学業を頑張る学生のために寄付を募り、実施しました。